

# 動物考古学 II

科目ナンバリング ARC-216  
選択 2単位

植月 学

## 1. 授業の概要(ねらい)

動物考古学とは遺跡から出土する動物遺体(貝殻や骨など)をもとに、過去の生活や環境を研究する学問分野です。本講義では具体的な研究事例をもとに、動物考古学の方法論や課題について解説します。

## 2. 授業の到達目標

- ・動物との関係という新たな視点から歴史を捉え直すことで、現代やこれからの社会について考える力を身につける。
- ・考古学的手法により、過去の生業や環境を研究する方法を理解する。

## 3. 成績評価の方法および基準

平常点:40%(出席およびリアクションペーパー)、期末試験:60%

## 4. 教科書・参考文献

## 5. 準備学修の内容

毎回資料を配付しますので、期末試験に向けてよく復習をしておいてください。

## 6. その他履修上の注意事項

考古・歴史、生物の両方に関係するテーマを取り上げます。なるべく予備知識がなくても理解できるように進めますが、幅広い関心を持って臨んでください。

前期の動物考古学Iを受講しているとより理解しやすいはずですが、IIでは縄文時代など主に先史時代を扱います。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 狩猟の起源
- 【第3回】 狩猟と採集
- 【第4回】 縄文時代の狩猟
- 【第5回】 貝塚の考古学
- 【第6回】 物の動き(1)貝類
- 【第7回】 物の動き(2)魚類
- 【第8回】 物の動き(3)哺乳類
- 【第9回】 生物分布の変化
- 【第10回】 生業の季節性
- 【第11回】 動物資源利用と定住性
- 【第12回】 動物資源利用と人口変動
- 【第13回】 化学で探る食生活
- 【第14回】 貝と骨の道具
- 【第15回】 期末試験とふりかえり